

# とうきょう すくわく プログラム

こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

## 江東区亀戸第二保育園 実践紹介！

### とうきょう すくわくプログラムってなに？

幼稚園や保育所において、子供たちが好奇心や興味を持って、わくわくしながら遊び、学べるよう応援する取り組みです。取り組みを通じて、子供たちの自己肯定感や思いやりといった豊かな心の育ちをサポートしていきます。

すくすく

すべての乳幼児の  
伸びる・育つ

×

好奇心・探究心

を応援する幼保共通のプログラム

東京都

## 「非認知能力」の育成等、乳幼児の成長・発達をサポート

なんで？

どうして？



好奇心を持つ  
きっかけを増やす

できるかな？

こうしてみよう！



考えを広げる

できた！

今度はあれを  
やってみようかな



考えを深める

## すくわくプログラムはどんなことをするの？

安全安心な環境のもと、子供たちが興味・関心を深められそうなテーマを園で設定し、好奇心を持つきっかけを増やしたり、考えを広げ、深めたりする取り組みを行います。

### 非認知能力とは

自己に

かかわる心の力

- 自尊心
- 自己肯定感
- 意欲
- 粘り強さ

社会性に

かかわる心の力

- 心の理解能力
- 共感
- 思いやり
- 協同性

テーマに関する子供たちの考えやイメージを引き出すための問い（例：〇〇ってなあに？）を考え、素材や道具を準備し活動を行います。

テーマ例：光・色・自然・音・泥遊び・絵本など

### 豊かな心の育ちを応援

乳幼児期は、「非認知能力」を培う大切な時

東京大学大学院 教育学研究科 教授 同附属発達保育実践政策学センター (CEDEP) 長 遠藤 利彦

子供が伸びやかに成長していくためには、無限大の好奇心に従って、心躍らせながら遊び学ぶことが重要です。また、同年代の子などと互いの個性を認め合いながら、1つのことに協力して取り組むことも大切です。この認識のもと、東京都とCEDEPは、「とうきょうすくわくプログラム」の支援に連携して取り組んでいます。



とうきょうすくわくプログラムは  
こちらからご覧いただけます。

とうきょうすくわくプログラムは、東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター (CEDEP) との協定の下、東京都の「とうきょうすくわくプログラム推進事業」として策定したものです。



## 江東区亀戸第二保育園

電話

03-3684-4386

所在地

江東区亀戸 7-41-16



# 江東区亀戸第二保育園で

2歳児  
クラス



## とうきょうすくわくプログラムに取り組みました

### テーマ 音(太鼓)

亀戸第二保育園では、園の特色として「和太鼓」の活動を行っています。  
技術を習得するのではなく、和太鼓を叩く気持ちの良さや楽しさを味わい、意欲や挑戦する力を身につけることなどをねらいとしています。  
そのため、太鼓を使いながら音への興味関心を広げ、音を楽しむことを目的としました。

#### 活動① 太鼓や様々なものを叩いてみよう

太鼓を触ることで音が生まれることを体験するために、まず手を使って太鼓を叩くことにしました。  
大きさや種類の異なる太鼓を並べたことで、太鼓の大きさによって音が違うことを発見し、違いを楽しみました。



太鼓の側面の穴に興味を持つ子もいました。

どんぐりを太鼓の上に乗せて叩くことで、強く叩くとどんぐりが跳ねて落ちることを楽しみました。



最初は太鼓に触れようとしなかった子も、友達に誘われたことで叩き始め、先生や友達と一緒に叩いたり、太鼓を通したコミュニケーションが生まれました。

#### 活動② 音の振動を探究しよう

活動①の内容をもとに、色水の入った器を使って、音の振動や空気の流れを可視化し、音によってどのような変化が生まれるか探究しました。

まず、太鼓の上に色水の入った器を置き、叩いた振動で色水がどのように動くのかを試しました。  
次に、地面の上に色水の入った器を置いて、太鼓の上と地面の上とで水の跳ね方の違いを観察しました。



#### 活動③ 自分の好きな音に出会おう

楽器とどんぐりを用いて、様々な音を発見する活動をしました。



鉄琴や太鼓の上にどんぐりを落としたり、タンバリンの裏にどんぐりを入れて音を出すなど、いろいろな音の出し方を試し、音の違いを楽しみました。

「好きな音は？」という問いかけに、ある子から「どんぐりをたらいにいれる音」という声があり、他の子供たちも自分からその音に関心を向けていました。

